

## 令和元年5月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

5月の業種別景況の前月比DI値は14業種の内、好転が3業種、前年同等が6業種、悪化が5業種で、全体の景況感DI値も4月より悪化している。

窯業・土石製品、建設業では、イベントでの販売や順調な受注により売上が増加した一方、食料品、小売業では、大型連休による営業日の減少や連休明けの反動により売上が減少したとの報告があった。

山口県の中小企業は、コストアップから収益が悪化しているとともに、慢性的な人手不足が続いている。また、消費税増税に対する不安の声もある。

### 山口県の主要指標 DI 値（令和元年5月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：10.3% 悪化：33.8% DI値：▲23.8% ポイント

売上高 ( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )

前年同月比は、増加：20.0% 減少：30.0% DI値：▲10.0% ポイント

収益状況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：15.0% 悪化：30.0% DI値：▲15.0% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和元年5月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲57.1	▲25.0	▲33.3	▲100.0	▲16.7	▲11.1	0.0	▲30.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
0.0	▲33.3	▲75.0	▲18.2	▲10.0	0.0	0.0	▲19.1	▲23.8
								

## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	10連休では、土産菓子取扱店は好調であった一方、洋菓子専門店は低調で、連休明けの消費は例年以上に低迷した。値上げに踏み切った店もある。10連休を見越して原料、包装材を大量に仕入れた店が多くあり、5月末は支払に追われている。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	大型連休の関係で営業日が例年より2日間短かったため、売上が大幅に落ち、それに伴い収益も減少した。	パン・菓子製造業 下関市
	10連休の集客効果で、5/28日時点の売上は対前年同月比8%のアップ。10連休は天候に恵まれたこともあり昨年同期比で25%アップと連日大盛況となった。連休明けはほぼ普段の状況に落ち着いている。初めての10連休で予測不能な事項も多かったが、余裕を持たせた対応で大きな混乱・トラブルなく運用ができた。	水産食料品製造業 萩市
	10月以降の消費低迷が懸念事項。還元などシステムに売り手側の不公平感がある。ここにきて運送費の値上げが高まり、非常に困っている。食品の値上げも続いているが、消費に結びつくかは不透明。	水産食料品製造業 下関市
	地球温暖化の影響で雨が少なく、水稻などの農作物の生育について影響が出ている。気候変動に伴い異常気象のせいか、過去の知見が全くいかせない状況となっており、企業経営における天候リスクがさらに高まってきた。突然の自然災害へ対応できるような、農産物の売り上げに関する保険制度のような仕組みづくりが必要になってきている。地球温暖化をこれ以上進めないためにも、二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。アメリカがパリ協定の離脱を表明するなど、二酸化炭素を排出しない社会づくりに厳しい状況が出ているので、電気自動車の普及対策や水素ステーションの充実などが重要になってきている。	精穀・製粉業
繊維工業	5/13ベトナムより6名来日し、合計59名。(ベトナム人32名、中国人=27名)	下着類製造業
	小ロット生産への適応力が向上してきた。	外衣・シャツ製造業 山口市
	夏物の納品が終わり、秋物の生産準備に進んでいる。新規の発注もあるが、今年度は仕事量が少ない様に感じる。既存の発注先だけでは心配されるので、新規開拓の営業に努める。	外衣・シャツ製造業 萩市
	繁忙期も予定通り生産を完了し、現在は備蓄期に入っている。心配していた衣料品メーカーの在庫圧縮もそうひどくはなく、メーカー担当者からも「仕事量は11月～12月位までは良好では」との説明があった。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市

木材・木製品	一部の組合員で、公共工事の工程に連動し設備稼働率が高くなった。人手不足の中、新規に雇い入れてもすぐに辞める人が多い。	製材業・木製品製造業
印刷	用紙値上げに伴う製造メーカーの出庫制限により、用紙調達が困難な状況となっている。	下関市
	長期休暇の割に効率の良い受注があったため売り上げは増加した。しかし一昨年と比較するとマイナスなのであまり喜べない。	山口市
窯業・土石製品	5月の出荷量は、 (平成30年5月) 骨材125%、路盤材112%、再生材 78% ↓ (令和元年5月) 骨材 86%、路盤材110%、再生材112%	砕石製造業
	出荷量は、前月比94%、前年同月比99%。現時点でのセメント・骨材等の資材調達で特に問題は生じていない。生コンの販売価格は県内で上昇傾向である。	生コンクリート製造業
	現在、加工の材料となる徳山みかげの入荷が不定期・入荷数量が不安定となっており、組合員の需要に応えられていない。撤去・処分が多くなったとは言え新規も若干ではあるが注文が入っているので、組合として安定供給を要望したい。	石工品製造業
	5月のゴールデンウィーク、萩市内の観光客は、新元号、10連休ということもあって、例年の35.1%アップの31万人余りが訪れた。市内萩焼小売店の売上げもアップ。1日～5日まで行われた「萩焼まつり」では、入場者42,500人(昨年より36.2%UP)で、売上げも軒並みアップし大いに賑わった。ギフト・卸関係・百貨店の受注は変わらず、新元号特需といったものは無かった。浅草アンテナショップ「萩の風」の売上げは、昨年比23.2%アップとなった。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	5月の景気は、全般的に安定して推移している。国内は、自動車関連や県内の大型構造物を製作する設備関係とも順調である。国外は、ベトナム、マレーシアなど東南アジア関係は順調を維持している。米中対立がこれからの日本にどんな影響をあたえるか、動きを注視している状況にある。	一般機械器具製造業 防府市

	<p>食肉加工、惣菜、自動車関係等実習生を入れている全ての職種で業績は好調。残業も多いため、36協定等法律の遵守を指導している。但し、米中貿易摩擦の影響か、中国に工場のある機械検査企業の下請けで業務量の減少傾向が若干あり、残業が全くない状況で、受入れ人数も減少傾向にある。介護職についてはインドネシアにてN4取得の研修中で10月の受け入れに向け準備しており、今後、増員の傾向である。制度改正に伴う、3号移行者の入国も順調で、即戦力として活躍している。受入れ人数拡大枠の利用についても順調で、有効求人倍率の高止まりに伴い人手不足感が強まり、今後とも技能実習生は増員の傾向にある。特定技能については、企業の関心は高まっており相談が増えてきているが、具体的な手続きに不明な点が多く送り出し国においても混乱している。当組合としても登録支援機関の申請準備も進めているが、米中貿易摩擦の影響からか、景気動向に若干の陰りもあり予断を許さない状況と判断している。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>毎年5月は、周南コンビナートの企業が大型定期修繕工事の時期であり、組合員各社とも多忙な時期で、受注量・収益等はともに好調の時期となる。</p>	一般機械器具製造業 下松市
	<p>人手不足が続くも前年と変わらず。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	<p>産業プラント部門の作業量は減少しているが、車両部門、半導体部門は多忙な状況。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>全般に荷動きが少なく、在庫が減少気味。</p>	乾物卸売業
	<p>相変わらず魚の入荷が少ない。「ふく」は安値が続いている。人員確保が大変難しい。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>少雨、真夏の気温に伴い、飲料関係の売上増加。</p>	各種商品卸売業
小売業	<p>10連休の売上は、路面店では店休した店もあり減少し、集客力のあるインショップでは増加となり、差が顕著に表れている。長期の休みが決して良い事だけではないと考えられる。</p>	化粧品小売業
	<p>5月に入り気温が高くなりエアコンの商談はあるが、売上に繋がっていない。6月は期待できる。</p>	機械器具小売業
	<p>大型連休が明けた一週間程度の小売・サービス業は、エンジン再起動の様子で相対的にヒマ。消費者も遊び疲れ、お金も使い果たした感覚で各地で嘆き節が聞かれた。しかし後半に入ると巻き返すかのように経済活動は活発化し、とりわけ雑貨・アパレル業界ではバーゲン対策の追い込みがかかった。一方、市況の情報は、あまり耳当たりの良いものではなく、大型商業施設アルパークの身売りなど先行きの不安を抱くようなこと</p>	各種商品小売業 岩国市

	が多くあった。岩国市では、やはり駅前再開発の遅れは商業者だけでなく市民全体に悲壮感や諦めムードが蔓延するなど、行政の対応が指摘されている。	
	10連休は例年通り商店街は閑散としている。	各種商品小売業 徳山市
	長府商店街のテレビ放映があった影響か、来客数が少し増えたようである。	各種商品小売業 下関市
	先月同様、退店予定の店舗による閉店セールの実施により、客数、売上とも前年を上回る売上の状況が続いているが、退店後の空き店舗対策が難しい状況。	各種商品小売業 長門市
商店街	低迷が続いている。大型店舗跡地は宇部市での取得と決まり、とりあえず安堵しているが、未だビジョンが見えず、不安の中にある。	宇部市
	多少人通りは増えてきている。店主に聞くと「多少の出入りはあるが、財布の紐は固い」とのこと、経済的な余裕はまだない模様。イベントも始まるが、「やってもお客がお金を使っていない」と厳しい表情である。	萩市
サービス業	昨年よりも天気に恵まれ出かけやすい気候であったが、当組合では脱退者が続いております、現状を見る限り、全体的に不景気だと言わざるを得ない状況。	美容業
	大型連休で売上が伸びないのではないかと心配をしたが、さほど影響は無かった。	理容業
	10月に予定されている消費税増税に伴うクレジットによるポイント還元の話であるが、「整備業界では車検費用の内で法定費用の割合が非常に高くクレジット決済がなじまない」旨を12月の報告で伝えたが、当整備業界の色々な会合で事業者からこの話が出てきている。問題意識は持っているものの、法定費用までに及ぶクレジットの手数料負担が重く、クレジット決済における手数料が整備事業者の負担にならないもの（ゼロに近いもの）があれば、当商工組合が中心になって事業者が安心して加入できるものを導入したいと考えており、支援策等ご教示を賜りたい。ポイント還元は短い期間ではあるが、この間にクレジットが使用できないがために顧客離れが起きることも想定され、これを防止するためには事業者負担のかからない対策が必要と考えている。	自動車整備業
	フィットネスクラブが増えた。まだ増加予定。	スポーツ・健康教授業
	10連休による消費者の消費疲れを懸念していたが、特に影響は感じなかった。去年は繁忙期が3月後半～4月後半がピークの前半型であったが、今年は後半型であるとみられ前年同月比では5月は大きくプラスになった。しかし、衣替え文化の衰退や服の使い捨て化により、昔ほどの爆発的な売上は見込めなくなりつつ	普通洗濯業

	あると感じる。弊店が在る厚狭地区の飲食店では、5月はあまり良くなかったという声も聞いた。	
	5月の入浴料値上げにより利用券のまとめ買いが前半も続いた。大型連休は前年より大幅な利用増となった。値上げ実施は連休後で、以後は特別な変化はなかった。	旅館業 長門市
	大型10連休があったが、前半の雨天にも関わらず全体的に好調であった。	旅館業 下関市
	大型連休は10連休ということで温泉街に家族旅行の方が多く、ラウンジには来られないかと思っていたが、一見様も若干の来店があった。街全体としては、賑わっていたと感じた。スタッフ(大学生など)は帰省し、人員の確保が難しかった。	飲食業
建設業	中電への工事申請94件(当支部分63件)、前年同月113件(同98件)。太陽光発電への申請29件(前年14件)、オール電化申請47件(前年63件)。LED街路灯への切り替え・新規申請12件(前年29件)であった。	電気工事業
	今年の3月頃より5~6年振りの大幅な工事の減少が続いている。夏以降は回復が見込まれる。雇用する技能者数が減っている。	左官業
	今年度は5月の始めから発注があり順調である。人件費も3%アップされた単価が適用されている。売上は3か月先の工事完了後となるが見通しは明るい。	管工事業
	5月の新築着工戸数は若干増加しているように思える。しかしながら屋根材の使用状況を見ると、瓦屋根は減少または横ばいであり、瓦関連の業界は依然として厳しい状況である。	屋根工事業
	材料、副資材(大型ボルト等)の手配難や納期長期化が大変深刻な状況で、仕事に影響が出ている組合員が多数いる。	鉄骨・鉄筋工事業
	働き方改革について、中小零細企業の経営者は大変不満を持っている。人手不足の中、これ以上要求が増えれば生産性が落ち、本気で外国人の雇用を考えざるを得ない。特に若い後継者は将来に夢を持っていない。地方創生と東京一極集中を本気で議論する時期が来ていると思われる。後継者不足は続く。	土木工事業 柳井市
	昨年の災害関連の工事が少しずつ出ている模様。	土木工事業 周南市
	元年5月の受注高は、対前年同月比437.2%。今年度の累計は、対前年比124.2%。	土木工事業 萩市
運輸業	輸送関係は5月6日までの大型連休により輸送量が大幅に減少。連休明けも輸送物資は多くなり、輸出物資の減少が大きく、国内向けもやや減少し、結果前年同月で1.5%の減少となった。相変らずのドライバ	一般貨物自動車運送業 下松市

<p>一不足で中小輸送業者は経営不振であえいでいる。燃料費は2.5円の値上げ。軽油引取税は少しでもなんとか引き下がらないだろうか。</p>	
<p>輸送売上高は、前年同月比で約9%程度増加しており、順調に推移している。燃料費は、4カ月連続上昇しており、前年同月比で5.5%上昇している。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
<p>物流業において物量はかなり多く、特徴としては倉庫への荷物保管案件に運送サービスが付帯してくるといった感じである。ある組合員では本社及びグループ会社管轄内に大規模倉庫の建築を着工したところである。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲6.3%（平成31年4月1日～令和1年5月20日分）。4月1日～30日分は+0.6%だったが、5月1日～20日分は▲8.4%。大連休で法人の利用が少なかったためか、5月は大幅な減少となった。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市の地域。4月分については、周南▲0.3%，下松▲3.7%，光▲3.3%，防府市地区が+12.6%で、組合員の全域では+0.9%、地区外（員外）▲2.7%、合計+0.6%（+138千円）。選挙用の利用があったが、得意先別の増減については、締切り期間による増減と思えるものも多く、長期間で平滑化すると、業種や地域による傾向はあまり無いように思える。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが上がり（前月527.5\$/トンが今月532.5\$/トン、前年487.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油も上がり（前月429.0\$/トンが今月430.0\$/トン、前年393.0\$/トン）、為替は円安（前月112.24円/\$が112.73円/\$）。燃料単価は前月と同額だが、前年5月分に比べると+5.8%と大幅に上昇しており、各社の経営を苦しめている模様。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。労働条件改善のため、タクシー運賃の改訂を希望する事業者が、運輸局に申請していたが、申請事業者数が一定割合を越えたので、運賃改定が行なわれることになった。但し、新運賃の体系（基本料や爾後運賃）については、色々な考えがあるようで、同一地域同一運賃にならないかも知れない。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>
<p>10連休の影響もあり取扱高は若干の減少ですが、その要素を除けば荷役の取扱は順調に推移している。6月についても予定入港数等は順調にあるが、梅雨に入り雨天となると品物により荷役が出来ないこともあるので、数字に影響を及ぼす。</p>	<p>港湾運送業</p>

その他 非製造業	技能実習生の就労が順調にいくよう、組合員と連携を とり進めているところである。現在のところ問題はな い。	介護事業
-------------	--	------